

北足立北部退職校長会

会員だより

第 43 号

発行責任者

秋 池 功

印刷所 吉 野 印刷

バトンをしっかりと渡せる退職校長会を

会 長 秋 池 功

私の地域では以前、十月頃が稲刈りのピークでした。近年では、九月十日過ぎから始まり、下旬には、ほぼ七割から八割終了します。思えば、昨年の九月十一日稲刈り終了間際に、鴻巣班退職校長会、役員等の集いに駆けつけました。

行かないと欠席裁判になることもあると言われていたので、忙しく参加しました。その会合では、この会の会長をどうするかが、中心テーマでした。かなりの難産の中、会長の器ではありませんが、お引き受けることになりました。

生前、母がよく、「越後から米つきに来る。」と話していたのが、会長選出時に浮かびました。江戸時代の諺でしょうか。「人に真剣に頼まれたら越後(新潟)から江戸まで米つきに来た。」という、頼む方の誠意と引き受ける方の信頼関係の大切さを示した例えだと思います。

いろいろな論議の中で、会長になりましたが、微力ながら一生懸命任務を全うしていくよう努力していきます。会員の皆様方には、何かとお世話にな

りますが、よろしく、お願いします。

現在の世の中、「役」を引き受ける方が、少なくなっています。学校関係、自治会、神社、寺、土地改良等々で、役員を選出に多くの時間を費やします。これは退職校長会でも言えるかもしれません。大変だと思ってもいざやってみると、それなりに学ぶ機会や、「今日『行く』ところと『用』がある」で、定年後の「はり」にもなります。「役」を頼まれたら「越後から米つきに来る。」が参考になれば幸いです。

今後の退職校長会では、「役員等々次の方へしっかりとバトンを渡す」体制づくりが必要です。それには、会議や懇親会等に出席して「良かった。」と感じる退職校長会になることを期待し、重圧感のない、リラックスできる集まりを目指したいと思います。

最後に、前任の大菅会長さんはじめ、役員の皆様には、ご尽力いただき、感謝申し上げます。今後ともご支援の程、お願いします。

オリンピッククニミ

副会長 松 田 康 秀

東京オリンピッククニミ漬けの日が続いた。開催前の世論調査では五十%の人が「中止にするのがよかった」であったが、テレビの視聴率は開会式五六・四%を始め高視聴率の連続であった。

感動場面のまず一つ目はメンタルの強さでした。ソフトボールでは二十歳の後藤選手の予選・決勝戦での好リリーフや卓球混合ダブルスの水谷・伊藤ペアが準々決勝ドイツ戦の最終ゲームで二対九から逆転勝利した瞬間でした。次に粘り、忍耐です。柔道経験者としては、大野将平選手が決勝戦で九分を超え、新井千鶴選手が準決勝で十六分以上経過後、勝利した瞬間でした。

スケートボードは危険を伴う遊びという認識でしたが試合中に選手同士が演技を褒め合い、失敗すれば慰め、健闘を讃えて抱擁する場面を見て、素晴らしい競技だと思いました。空中で一回転半する大技五四〇でも感動しました。さらに、仮想の敵との攻防を演じる空手男子形、女子形の演技、バスケットボール女子では町田選手のアシストなど感動の連続でした。

すばらしいパフォーマンスを見て心を躍らせ、刺激を受けた子どもたち。私も豊富な練習量や忍耐、努力、精神力に励まされ元気をいっぱい得ました。

羅針盤

副会長 塩 原 博

羅針盤「…船舶・航空機の進路を測定する用具である。広辞苑より」。コロナプスやマゼランが新大陸の発見に大活躍をした大航海時代にはなくてはならない必需品でしたが、現代はGPS衛星により数メートルの範囲で位置確認が可能になり、羅針盤はいずれ死語となり、用具とともに忘れ去られるでしょう。人の一生はよく航路に例えられる。困ったとき、悩んだときに人生航路の羅針盤として偉人・賢人の言葉が将来の進むべき方向を示し導いてくれるでしょう。次の福沢吉訓七則(福沢諭吉の言葉ではない。)が私の座右の銘として紹介してきた言葉です。

- 一・世の中で一番楽しく立派な事は、一生涯を貫く仕事を持つという事です。
- 一・世の中で一番惨めな事は、人間としての教養がない事です。
- 一・世の中で一番さびしい事は、する仕事がない事です。
- 一・世の中で一番みにくい事は、他人の生活をうらやむ事です。
- 一・世の中で一番尊い事は、人のために奉仕して決して恩にきせない事です。
- 一・世の中で一番美しい事は、全ての物に愛情を持つ事です。
- 一・世の中で一番悲しい事は、うそをつく事です。

北足立北部だより

高橋 俊男

◇北足立北部定期総会中止

令和三年度定期総会は、新型コロナウイルス感染防止のため三月二十七日(土)の理事会に諮り、中止となった。

また、同理事会において、令和三年度事業結果・決算報告、新年度事業計画・予算が、総会に代わり承認された。

令和三年度総会資料及び名簿は、六月中に会員へ配付を完了した。

本年度新会員は、鴻巣班四名上尾班三名合計七名の皆様が入会され、会員総数二百四十名となった。

本年度の役員は、次のとおり。

○会長 秋池 功

○副会長 塩原 博・松田康秀

○正副会長以下の役員

幹事 (長) 高橋俊男 (会計) 海野

正 (庶務) 田所 章 (委員

長) 町田哲夫・井関由美夫・

青木一弥 (上尾班幹事長) 福

田安孝 (鴻巣班幹事長) 奈良

高男

監事 村尾章平・青木 清

理事 総会資料各委員会名簿に表記

顧問 大菅建男

○第一回正副会長・幹事会

○第一回理事会・委員会

六月五日(土)吹上生涯学習センター視聴覚室

議題一 本年度事業計画の具体化

二 予算執行について

三 委員会の活動内容と分担

○第二回正副会長・幹事会

○第二回理事会・委員会

九月十一日(土)吹上生涯学習センター視聴覚室

議題一 各退職校長会からの報告

二 各委員会の進捗状況について

○教育推進委員会

(長) 町田哲夫・菅田 泉・飯塚

睦・田代孝治・高荷國男・小林三

智雄・中村敏男

現職・退職校長教育推進協議会に向けての準備を進めたが、新型コロナウイルス感染防止のため中止とした。

○懇親旅行委員会

(長) 井関由美夫・山口秀之助・茂

木京子・島田研吾・荒井秀昭・高野

和夫・堀 守雄

コロナ感染防止のため中止とした。

○会報委員会

(長) 青木一弥・堀越洋子・荒井

智・落合啓志・松本光男・青木慶

一・加藤幸弘

会員だより四十三号の企画・編集等

○埼玉県退職校長会総会

六月四日羽生市で開催予定であったが新型コロナウイルス感染防止のため中止となった。

上尾班だより

福田 安孝

○定期総会

令和三年度の定期総会は、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。

規約第十条「緊急の場合は、理事会をもって総会に代える」を適用し、三月六日(土)理事会にて決定した。

○令和三年度事業状況

①新会員は三名、会員総計は百十四名。(十月一日現在)

②会員だより(あおい)第二十八号を七月に発行した。

③「会報第二十九号」を令和四年三月に発行する予定。

④班内の退職校長と上尾市現職校長との懇話会は、七月に予定していたが新型コロナウイルス感染拡大防止のため本年度も中止にした。

⑤班内の小中学校長に、学校をさまざまな立場で支援するため通学区域在住の退職校長名簿を配布した。

⑥会員研修は、例年バスを利用した日帰り研修を計画していたが、これも新型コロナウイルス感染拡大により見通しが立たない状況のため、昨年度実施した講演会形式も取りやめ中止とした。

⑦同好会は、彩光会(写真)とウォーキング会が、計画の縮小や変更など行っており活動している。

鴻巣班だより

奈良 高男

○定期総会

四月十日(土)北本市文化センターで開催予定であったが、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症防止の観点から中止した。規約第八条「緊急の場合、役員会をもって総会に代えることができる」を適用し、四月十日(土)の総会に代えて、新旧役員会を開催し、事業の決定及び引継ぎを行った。尚、総会提案事項については、予め全会員に総会議案表決書を提出していただき決定した。

本年度、喜寿を迎えられた三名の会員の方々に、お祝い金を贈呈し祝意を表す。また、米寿は五名、傘寿は五名の方々が祝賀を迎えられた。(埼玉県退職校長会会報にて掲載)

○令和三年度事業の状況

①新会員は四名、会員総数は百二十六名である。(鴻巣六十一名、吹上二十九名、北本三十六名)(十月一日現在)

②第一回役員会
六月十二日(土)鴻巣市文化センターにて開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。

③研修会
会員研修会は、九月に予定されていたが緊急事態宣言下であったため中止とした。

④第二回役員会
令和四年二月に実施予定